

CAMPUS NOW

国立高専機構 新居浜高専 校報

No.220 2017. 7



外国人留学生相談員（チューター）の委嘱式を行いました。



4月6日（木）、本校編入学後1～2年目となる留学生3、4年生の、学習面や身の回りのことをサポートする相談員（チューター）の委嘱式を行いました。

本年度3、4年生に在籍する5名の留学生に、1対1でサポートができるよう5名の学生が、福田教務主事（校長補佐）から相談員の委嘱状を手渡され、外国から来日して間もない留学生が困らないよう、相談員に対しサポートする重要性について説明がありました。

名誉教授称号授与式を行いました。

4月21日（金）、校長室において新居浜工業高等専門学校名誉教授称号授与式が行われ、関係教職員出席のもと、平成29年3月31日付で定年退職された元教授に校長から称号記が授与されました。

名誉教授の称号を授与された方々は、次のとおりです。

（敬称略）

元生物応用化学科 教授 桑田 茂樹（平成29年4月1日付け特任教授）

元一般教養科 教授 安藤 進一（平成29年4月1日付け特任教授）

元数理科 教授 西谷 郁夫



平成29年度中国・四国地区高等専門学校専攻科生研究交流会に参加しました。



4月21日（金）、22日（土）の2日間、宇部高専を主幹校として専攻科生研究交流会が開催され、本校専攻科生19名を含む中国・四国地区13高専の専攻科生及び教職員約270名が参加しました。

本研究交流会は、中国・四国地区高専の専攻科生が集い、各校の学生実行委員の運営により開催し、日頃の研究成果を発表する場となっています。研究発表では、口頭やポスターで研究発表し、質問や議論が活発に行われ

れました。また、情報交換会では、専攻科生作成の学校紹介ビデオを上映するなど、高専間の交流を深めました。

なお、本研究交流会は、平成10年に本校で第1回を開催して以来、20回を数えますが、専攻科生の研究発表を振興するという役割を終え、今回が最終回となりました。

➤ **本校教員2名が高専機構理事長賞を受賞しました。**

平成28年度国立高等専門学校教員顕彰において、国立高等専門学校機構理事長賞を機械工学科の吉川 貴士 教授及び環境材料工学科の平澤 英之 准教授が受賞し、4月25日(火)に、国立情報学研究所(学術総合センター)において表彰式を行いました。この教員顕彰は、管理運営、地域社会への貢献を含み、学生教育を中心とする分野において顕著な功績を挙げている教員を顕彰するものです。

吉川教授は一般部門での受賞となり、顕彰題目は「地域と連携した社会実装によるエンジニアリングデザイン教育」として、教育・研究を通じた社会貢献の分野で特に評価されたことが受賞に繋がりました。

また、平澤准教授は若手部門での受賞となり、顕彰題目は「海外共同研究者と連携したグローバル学生エンジニアの育成」として、学生の国際化を目指した教育活動が特に評価されたことが受賞に繋がりました。

今後の意気込みについて、吉川教授は「この度は名誉ある賞をいただきありがとうございます。地域の皆様と連携して高齢・障がい社会におけるノーマライゼーションへの改善に取り組み、また、学生への指導(社会実装)を取り入れたことに対する顕彰です。これも東予地域の産業界・行政・市民団体等地域の皆様のご協力によるものと思ひ、深く感謝いたします。これからも若い人材の育成に変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。」と述べ、平澤准教授は「これまでに、学生達と共に一生懸命取り組んできたことをこの様に高く評価していただき、大変有り難いことと思っております。これからも、新居浜高専からグローバルに活躍できる技術者として学生さん達を社会に送り出せるよう、一緒に最先端の研究活動を続けたいと考えております。」と述べました。

➤ **外国人留学生防犯・交通安全講話を実施しました。**

4月27日(木)、渡航間もない留学生が犯罪被害に遭わないための心構えや交通ルールについて学ぶ新居浜警察署主催の防犯・交通安全講話が、本校で開催され、留学生7名が参加しました。

講師から、外国人を狙った犯罪に巻き込まれることがないように普段から気をつけておくことや、自転車の交通ルールについて、ホワイトボードで示しながら、わかりやすく丁寧に説明していただきました。

また、本年度入学した留学生を主に、自転車運転シミュレーションマシンを利用し、教えていただいた自転車の交通ルールを確認しました。

加えて、自転車盗難防止ロックを贈呈していただき、留学生らは防犯・交通安全の意識を高めた様子でした。



➤ **1年生合宿研修を実施しました。**

国立大洲青少年交流の家において、5月12、13日(金、土)の日程で1年生合宿研修を行いました。

1日目はカヌー実習、クラス対抗綱引き大会を行いました。始めは恐る恐るだったカヌーの操縦でしたが、次第にコツを掴み、水面散歩を楽しむことができました。クラス対抗綱引き大会は、各クラス円陣を組み士気を高めるなど気合い十分で挑み、大盛り上がるうちに1日を締めくることができました。2日目はウォークラリーを行いました。大洲の町を散策しながら各班協力してクイズに挑み、仲間との絆を深めることができました。天候が心配されましたが、両日とも天候に恵まれ、無事、全日程を終えることができました。



学生は入学して1ヶ月のこの時期に、学生同士および教職員とより一層の親睦を深めるとともに、同施設を利用する他団体との調整の中で規律を守り、各自の役割をこなしながら研修を楽しむことができました。

学校生活においても、課外活動をはじめ、クラスマッチや文化祭など今後多くの行事を計画していますが、これらの経験を生かしながら協調性やリーダーシップを更に培っていくことを期待しています。

➤ **全国高専プログラミングコンテスト学内選考会を開催しました。**

5月15日(月)、全国高専プログラミングコンテストに向け、学内選考会を開催しました。



今年の大会テーマは「IT 志士たち、よーけ集まるであります」です。自由部門(自由な発想で考案された独創的な作品を競う)・競技部門(与えられたルールによる対抗戦)に本校代表としての出場を希望するチームが、それぞれのアイデアのプレゼンテーションを行いました。

本校代表チームは6月24日(土)の予選会(書類審査)を経て、10月8、9日(日、月)に山口県周南市で開催される本選に臨みます。

➤ **学生大会及びクラスマッチを開催しました。**

5月16日(火)、学生会主催の学生大会を第1体育館にて開催し、前年度学生会費決算報告及び今年度学生会費予算案報告を行い、ともに承認されました。引き続き、今年度学生会役員への委嘱状交付を行いました。

学生大会後、クラスマッチを開催し、クラス対抗で競い合いました。晴天の心地よい天候の中、チームプレーを通して絆を深め、友好的な親睦を図ることができました。



優勝	キックベース (男子)	2年	4組
	ドッジボール (男子)	5年	機械工学科
	ドッジボール (女子)	5年	生物応用化学科
	※同点優勝	1年	1組
	UNO (室内ゲーム)	4年	電子制御工学科

➤ **第71回（平成29年度）愛媛県高校総体結団式を行いました。**

5月16日（火）、視聴覚教室において第71回（平成29年度）愛媛県高校総体結団式を行いました。

式では、団長の数理科三井教員から結団の挨拶がありました。選手宣誓は選手を代表してバスケットボール部主将の3年環境材料工学科・伊藤里奈さんが務め、意気込みを語りました。

結団式の後、場所を第一体育館に移して開会式行進の練習を行いました。心を一つにして腕を振る姿から、皆で試合に挑む団結心が伝わってきました。

皆さんの健闘を祈っています。



➤ **『マシンラーニング応用ラボ』の記事が地元経済誌のトップ面に掲載されました。**

このたび、電子制御工学科の柏尾 知明 准教授が代表、同学科の田中 大介 助教が副代表を務める『マシンラーニング応用ラボ』を紹介する記事が、『週刊愛媛経済レポート』（2017年5月29日号）のトップ面に掲載されました。同ラボは、人工知能技術の提供を通じた企業との共同研究を目指して平成29年4月に高度技術教育研究センターに設置し、人工知能分野を研究している本校の教員で構成しています。

取材時には、柏尾准教授と田中助教が同ラボについて説明しました。

『マシンラーニング応用ラボ』HP

<http://www.ect.niihama-nct.ac.jp/mla-lab/>



なお、週刊愛媛経済レポートでは、過去にも同学科 出口 幹雄 教授が『水電極プラズマによるアスベスト処理』という研究で紹介されるとともに、同研究により「週刊愛媛経済レポート賞準大賞」を受賞しております。

http://www.niihama-nct.ac.jp/backnumber/2014/6_19/index.html

➤ **SPOD研修「アクティブラーニング実践（試験紙法）」**

5月30日（火）、高知大学大学教育創造センターの立川明先生を講師にお招きし、SPOD（四国地区大学教職員能力開発ネットワーク）研修プログラム「アクティブラーニング実践（試験紙法）」を開催し、本校教員47名が参加しました。



本研修は高知大学で行っている化学の授業を例にアウトプットを中心にした授業方法をもとに、ディープラーニングに誘うための参加型授業に必要な要素を紹介することを目的として開催し、実際にグループワークを体験しながら意見交換、班別発表などが行われました。

講師の立川先生からは具体的事例に基づいたアクティブラーニング型授業の組み立て方等についてお話があり、とても有意義な研修となりました。

➤ **メンタルヘルスに関する授業を開催しました。**

6月6日(火)、愛媛県西条保健所健康増進課の真木 氏と篠原 氏、及び西条市保健センターの大澤 氏をお迎えし、本校2年5組の学生を対象として、「こころのスキルアップ教育」を実施しました。

この授業は、本校メンタルヘルス教育推進室と愛媛県西条保健所が連携して企画したもので、「若者のメンタルヘルス支援対策事業」として本校がモデル校となり、平成27年度から実施を始め今年で3年目になります。今回は、前年度の1年生における「認知行動療法」から引き続いての内容として、自分



も相手も大切にするコミュニケーションスキルとしての「アサーション」について講義をしていただきました。

相手を不快にする攻撃的な言い方、自分を抑圧している弱い言い方に対し、適度(アサーティブ)な表現について事例を通して分かり易く説明していただき、学生はグループ討議を行いながら理解を深めていました。今後、学級担任も講師役を務めながら2年生全クラスに順次実施していく予定です。

➤ **第31回ISTS国際宇宙展示会に出展しました。**

6月3日(土)から7日(水)にかけて、松山市のひめぎんホールにおいて表題の展示会が開催され、「えひめ東予産業創造センター」と「高専スペース連携(本校教員が参画する宇宙関連の研究グループ)」が共同のブースで出展しました。3日(土)は本校電子工学専攻2年の 松中 宏樹 さんが、6日(火)は電気情報工学科の 若林 誠 講師が説明にあたりました。



ISTS(International Symposium on Space Technology and Science)は、国内最大の宇宙技術・宇宙科学の国際シンポジウムで、全国の都市を巡りながら2年に1回開催されています。展示会場ではJAXA(宇宙航空研究開発機構)や三菱重工業、アリアンスペース等の国内外における宇宙関連組織・企業等が展示を行い、大勢の来場者でにぎわっていました。同ブースでは東予地域での宇宙関連企業の紹介に加え、本校の電気情報工学科における CanSat 競技(能代宇宙イベント・種子島ロケットコンテスト)への参加と受賞実績、高知高専における「衛星設計コンテスト」への参加・受賞実績及び高専



スペース連携で取り組んでいる「高専スペースキャンプ」の紹介を行いました。

今回のISTSはアクセスの良い場所で開催され、本校の活動を国内外にPRする絶好の機会でした。会場では宇宙関連のテーマに取り組む企業スタッフ・研究者・学生だけでなく、自治体関係者や地元の子供達も同ブースを訪れ、強い関心を寄せてくれました。今後も機会があれば、東予地区及び本校での取組を積極的にPRしていきます。

➤ **高専ロボコン2017参加チーム紹介、学内アイデア発表会を開催しました。**

10月8日(日)に南国市立スポーツセンター(主催:高知高専)で開催される全国高専ロボコン2017四国地区大会(テーマ:大江戸ロボット忍法帳)に向け、6月16日(金)、出場するチームの紹介と学内アイデア発表会を開催しました。

本校から出場するA・Bの両チームとも、本年度の競技課題である「風船割合戦」に適したロボット製作に向け、現在までに考えているアイデアについて、プレゼンテーションをしました。

発表後の質疑応答では、教員から安全面や技術面からアドバイスがありました。今後も定期的に各チームの報告会を開催することとしています。



➤ **第71回愛媛県高校総体に出場しました。**

6月3日(金)から6月5日(月)及び17日(土)、18日(日)において、第71回愛媛県高等学校総合体育大会が開催され、本校から出場した各部とも懸命に試合に挑みました。

本校から出場した選手の結果は次のとおりです。

バスケットボール	女子	1回戦	68-63	北宇和
		2回戦	24-150	済美
バレーボール	男子	1回戦	0-2	小松
陸上	女子砲丸投げ	予選敗退		
バドミントン	男子団体	1回戦	1-3	松山工業
柔道	男子団体	1回戦	0-5	宇和島東
	男子個人	60kg級	1回戦	敗退(2名)
		66kg級	1回戦	敗退(1名)
		73kg級	2回戦	敗退(1名)
90kg級		1回戦	敗退(1名)	
剣道	男子団体	1回戦	1-1	松山商業 (代表戦負け)
ソフトテニス	男子個人	1回戦	4-1	北宇和
		2回戦	3-4	伊予
	男子団体	1回戦	0-3	済美
テニス	男子団体	2回戦	1-2	新居浜南
少林寺拳法	男子単独演武	3位(四国大会出場決定)		
	男子単独演武	6位入賞(四国大会の結果)		
水泳	女子	400mリレー	予選敗退	
	女子	50m自由形	予選敗退(2名)	

➤ **台湾から短期留学生が来校しました。**

6月19日(月)、台湾にある国立聯合(れんごう)大学の女子学生、簡貞宜さんと 王嘉琪さんが短期留学生(教育実習生)として本校に来校しました。留学期間は約1ヶ月で、その間に、本校の学生に中国語を教える教育実習を行い、また、県内の観光や留学生歓迎交流懇談会への参加等を予定しています。



宿泊については学寮を利用し、実習の最後に成果報告会を開催する予定です。さらに7月10日からは、同大学華文系の 何修仁 教授が実習監督者として来校します。短い期間にはなりますが、日本の文化にも触れ、多くのことを学んでほしいと思います。本校の学生にとっても、異文化を理解する貴重な体験となることでしょう。

また、本校と国立聯合大学は、[平成28年9月に学術交流協定](#)を締結しております。なお、今回の留学については、高専機構と国立聯合大学との包括協定に基づき実施しているものです。

➤ **高専機構の紀理事が来校しました。**

6月20日(火)、国立高等専門学校機構の紀聖治理事が来校し、本校教員との意見交換会及び講演会を行いました。

意見交換会には校長及び教員7名が参加し、最初に紀理事から『高専と高専教員にとって「研究」が当然のミッション(使命・義務)である5つの理由』と題して説明があり、その後意見交換を行いました。意見交換会終了後の講演会では、「高専の新しい未来を切り拓くために ～断絶的環境変化に立ち向かう～」という演題でお話があり、参加したおよそ70名の教職員は真剣な表情で講演に聞き入り、たいへん有意義な時間となりました。



➤ **留学生が日本語スピーチコンテストに出場しました。**



6月25日(日)、新居浜市総合福祉センターで、にいはま日本語の会主催「第15回日本語学習者による日本語スピーチコンテスト」が開催され、本校留学生で機械工学科3年のグレスさん(マレーシア出身)、電子制御工学科3年のピョンさん(マレーシア出身)、生物応用化学科3年のハリザさん(マレーシア出身)の3名が出場しました。

習熟度別5部門に22名の外国人の方が参加し、ピョンさんは上級の部(発表時間5分)に「小指にも存在意義はある」というテーマで、グレスさんは中級(同4分)に「言葉の壁を越えるには」というテーマで、ハリザさんは同じく中級(同4分)に「愛について」というテーマで発表しました。

審査の結果、グレスさんが部門2位を獲得し、表彰されました。3人は自信をつけるとともに、日本語能力試験合格に向け、今後も日本語の勉強を続けていくと決意を新たにしていました。

➤ **海外の工学部学生及びインターンシップ生が来校しました。**

6月26日(月)、台湾にある国立聯合(れんごう)大学の男子学生4名がインターンシップ生として本校に来校し、また、同日にサザンクロス大学工学部の学生10名も来校し、迫原校長に挨拶をしました。

国立聯合大学のインターンシップ生は約1ヶ月間本校において実習を行い、先日来校した2名の短期留学生(教育実習生)と同様に、県内の観光や留学生歓迎交流懇談会への参加等を予定しています。なお、サザンクロス大学工学部の学生については、26日に国立聯合大学のインターンシップ生4名とともに住友金属鉱山株式会社の工場を見学し、翌日の27日には他県に移動しました。



➤ **平成29年度外国人留学生歓迎交流懇談会を開催しました。**

6月26日(月)、いはいま日本語の会や新居浜市生涯学習センター、留学生支援でお世話になっている関係諸団体をお招きし、平成29年度外国人留学生歓迎交流懇談会を本校・尚友会館で開催しました。

本年度、第3学年に新しく3名の留学生を迎え、第4学年、第5学年の各2名を合わせて、3カ国(インドネシア、マレーシア、ラオス)から計7名の外国人留学生が在学しています。また、この懇談会には国立聯合大学からの短期留学生(教育実習生)2名及びインターンシップ生4名、さらには当日来校したサザンクロス大学工学部の学生10名も参加しました。

会場では、留学生同士で語らう様子や記念撮影する様子が見られ、あちらこちらで懇談の輪ができていました。



➤ **高専体育大会激励会を実施しました。**

6月29日(木)から7月16日(日)(一部競技除く)にかけて開催される四国地区高等専門学校体育大会、7月8日(土)・9日(日)に行われる中国四国地区高専弓道大会及び13日(木)からの全国高等学校野球選手権愛媛大会に本校学生も参加します。

これに先立ち、6月29日(木)、学生会が主体となり、出場選手を激励する会を第一体育館で実施しました。激励会では、迫原校長と学生会長の激励の言葉や各クラブの代表者から大会へ向けた決意表明があり、大会に臨む選手達



の意気込みが伝わってきました。最後に応援団のエールがあり、選手たちの士気をさらに鼓舞しました。

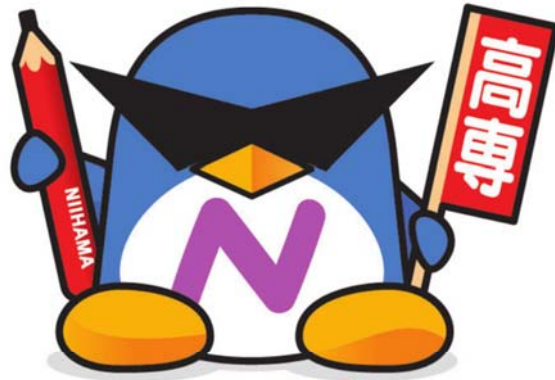
➤ **選挙に関する講座を開催しました。**



6月29日(木)、新居浜市選挙管理委員会事務局から講師を招き、本科3年生を対象に、選挙に関する講座を開催しました。

平成28年6月に公職選挙法等の一部を改正する法律が施行され、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられました。それを受けて、昨年度は3年生以上の本科生を対象に選挙講座を実施しました。今年度は、新たに選挙権を得る学生に、選挙の意義、選挙制度についてわかりやすく解説していただきました。

今秋の衆議院補欠選挙では、本校の図書館棟1階ロビーに期日前投票所を設置することとなっております。また、投票立会人や、投票用紙を渡すなどの選挙事務も本校の学生が行う予定です。



技術で羽ばたけ
世界へ未来へ
～新居浜高専～



国立高専機構

新居浜工業高等専門学校

National Institute of Technology, Niihama College

〒792-8580 愛媛県新居浜市八雲町7番1号
TEL (0897)37-7700 FAX (0897)37-7842